

危機管理課

○ 防災関係

1 災害対策本部関係

伊勢市地域防災計画に基づき、災害の防止・軽減・応急対策を迅速に実施するため、災害対策本部を設置した。

(1) 本部設置回数 4回

設置年月日	警報・注意報名	備考
4. 7. 27 (水)	大雨 (浸水害・土砂災害) ・洪水警報、土砂災害警戒情報、雷注意報	
4. 9. 2 (金) ～ 9. 4 (日)	大雨 (土砂災害) 警報、土砂災害警戒情報、雷・洪水注意報	
4. 9. 19 (月) ～ 9. 20 (火)	暴風・波浪警報、大雨・雷注意報	台風第14号
4. 9. 23 (金)	大雨 (土砂災害) 警報、土砂災害警戒情報、雷・波浪・強風・洪水注意報	台風第15号

2 災害対策本部の体制強化

(1) B C M (伊勢市業務継続マネジメント) 定例会の開催

各部、各チームが主体性を持ってB C Mに取り組むためにB C M定例会を開催し、課題に対する対策の進捗状況について報告等を行った。協定先との連携、ドローンの活用、職員参集訓練で抽出した課題に対する対策を情報共有するとともに、次年度に向けた課題の抽出を行った。

ア 第11回B C M定例会

- ・実施年月日 令和4年8月16日 (火)
- ・参加者 市長、副市長、各チーム長及び部局長、各総合支所長
- ・講評者 川口 淳 氏 (三重大学)

イ 第12回B C M定例会

- ・実施年月日 令和5年3月27日 (月)
- ・参加者 市長、副市長、各チーム長及び部局長、各総合支所長
- ・講評者 川口 淳 氏 (三重大学)

(2) 執務室設営訓練の実施

勤務時間外の地震発生を想定し、居住地に応じた場所に参集し、各場所において災害対応の執務室設営までの手順を確認する訓練を実施した。

- ・実施年月日及び場所 ①令和4年10月20日 (木) 二見総合支所
②令和4年10月25日 (火) 本庁舎
③令和4年10月26日 (水) 御菌総合支所

- ・参加数 ①19名 ②36名（3班） ③16名
- ・訓練内容 勤務時間外に地震が発生したことを想定し、職員の居住地に応じて参集し建物の安全確認、ライフライン点検、通信機器の確認、防災行政無線放送、災害対策本部の執務室設営までの手順を確認した。

（3）図上訓練の実施

職員の災害対策本部運営の習熟度を上げるため、国や県、自衛隊、警察などの関係機関や災害協定を締結した自治体、企業にも現地や電話、オンラインで参加いただき、図上訓練を実施した。

- ・実施年月日 令和5年2月1日（水）
- ・実施場所 防災センター
- ・参加者 142名（市職員111人、関係機関 31名）
- ・関係機関 三重県（関係各課及び伊勢保健所）、警察（伊勢警察署）、指定地方行政機関（中部地方整備局三重河川国道事務所、鳥羽海上保安部）、自衛隊（陸上自衛隊第33普通科連隊）、指定公共機関（中部電力パワーグリッド㈱）、伊勢市社会福祉協議会、災害協定締結団体（長野県飯田市、愛媛県西条市、石川県加賀市、岐阜県中津川市、静岡県袋井市、佐川急便㈱）
- ・講評者 水木 千春 氏（三重大学）
- ・内容 災害対策本部における情報共有のルール確認や災害対応の目標設定、活動内容の企画・立案方法の理解を目的として、宮川左岸の破堤から24時間後を想定し、外部からの支援の受入れに関する業務の課題抽出、模擬記者会見を実施した。

（4）伊勢市避難所モデル検証訓練

- ・実施年月日 令和4年6月13日（月）
- ・実施場所 旧豊浜中学校
- ・参加者 67名（市職員、県職員）
- ・講評者 磯和 勅子 氏（三重大学）、服部 由佳 氏（三重大学）
- ・内容 新型コロナウイルス感染症対策を実施した避難所での受付、避難誘導、避難者の区分けなどを実施した。

3 自主防災隊資機材購入事業

令和3年度に結成し、活動を開始した新規結成自主防災隊に防災資機材等を交付した。

- （1）自主防災隊 ユニオン新村自主防災隊（令和3年11月1日結成）
- （2）支出額 813,032円
- （3）交付資機材 発電機、チェーンソー、パール、コードリール、LEDスタンドライト、工具セット、カセットガスコンロ、二連はしご、テント、ブルーシート、折りたたみ台車、ラジオ、三角コーン、角形スコープ、USB充電器など

4 自主防災隊補助事業

伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、防災資機材や備蓄食料等の整備及び訓練に対し、次のとおり補助金及び助成金を交付した。

- (1) 自主防災組織結成数 134隊 (令和5年3月31日現在)
- (2) 訓練助成金 69件 2,070,000円
- (3) 防災補助金 105件 14,705,000円
 - ア 自治会 35件 3,660,000円
 - イ 自主防災組織 70件 11,045,000円

5 地域防災力向上支援事業

(1) 防災講習・防災訓練の実施

南海トラフ地震の発生が危惧されている中、地域における防災の取組みを促進するため、自治会、自主防災組織、まちづくり協議会及び小中学校や高校、企業等からの要請に応じ、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、防災講習や防災訓練指導を実施した。

- ア 実施回数 86回
- イ 参加人数 3,901名
- ウ 実施内容
 - ・緊急時の行動や家庭内での防災対策の説明
 - ・児童、生徒、従業員等への防災教育
 - ・災害時の避難行動訓練指導

(2) 地域防災マップ作成事業

住民が災害に強いまちづくりを行うことを目的として、防災について話し合い、顔の見える関係を作り、地域課題の共有や改善を行うため、地域住民の力で行うタウンウォッチングや地域防災マップ作成に対し支援を行った。

- ア 説明会 令和4年6月26日(日) 小俣農村環境改善センター
令和4年7月4日(月) 王中島公民館
- イ 説明会参加自治会 5自治会(上区自治会・馬瀬町内会、掛橋自治会、御菌町新開区、王中島区)
- ウ 作成実績 2自治会(上区自治会、御菌町新開区)

(3) 高齢者等宅家具固定事業

過去に発生した大規模な地震では、住宅内の家具の転倒により多くの死傷者が発生している。特に高齢者、障がい者が被災されるケースが多数見受けられたため、高齢者等を対象に家具固定事業を実施した。

- ア 実施件数 13件
- イ 申込期間 令和4年8月1日(月)～令和5年1月31日(火)

(4) 自主防災隊リーダー研修会の開催

地域の自主防災組織活動の中心的役割を担うリーダーの育成を図るため、伊勢市防災大学の講習と合わせて研修会を防災センターで実施し、熊本市の動物病院院長から熊本地震の体験をもと

に、ペットの避難について学習した。

ア 実施年月日 令和4年8月28日（日）

イ 研修内容 防災講演 「避難所のペット対応について」

講師 徳田 竜之介 院長（熊本市 竜之介動物病院）

（5）伊勢市防災コーディネーター事業

市民の防災活動の普及・防災意識の高揚を図るため、防災士資格を持つ市民の中から防災コーディネーターを認定し、地域の防災啓発活動のサポート等を行った。

伊勢市防災コーディネーター 40名（令和5年3月31日現在）

（6）親子防災イベント（中止）

小学校の夏休みを利用し、児童及びその保護者を対象に、防災センターにおいて、非常食の試食や応急手当の体験、避難所疑似体験などを通じ、災害に対する備えについて学び、防災に対する意識の向上を図るイベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

6 防災センター運営事業

平成28年4月1日にオープンした伊勢市防災センターは、市民の防災に関する知識の普及及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図るとともに、災害時における災害対策本部として運用しており、防災の拠点として施設の管理、運営を行った。

（1）管理運営方法

市が直接管理し、使用料は無料で運営している。（12月28日から翌年1月4日までは休館）

（2）利用状況

（単位：人）

年度	体験学習室	研修室1	研修室2	研修室3	多目的ホール	小計	イベント	合計
H28	8,055	3,226	214	236	4,023	15,754	2,300	18,054
H29	6,444	4,796	261	605	3,673	15,779	1,550	17,329
H30	6,187	4,238	240	597	4,825	16,087	1,700	17,787
R元	6,526	4,023	314	313	5,235	16,411	1,550	17,961
R2	2,586	1,859	173	191	3,070	7,879	0	7,879
R3	3,388	2,751	451	219	4,007	10,816	0	10,816
R4	4,271	2,961	415	315	5,343	13,305	0	13,305

（3）実施イベント

ア 消防・防災フェスタ（中止）

消防本部と共催で「消防・防災フェスタ」を令和4年5月29日（日）に防災センターで開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

イ 救急と災害を考える集い（中止）

伊勢地区医師会・伊勢保健所等と共催で「救急と災害を考える集い」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

(4) 伊勢市防災大学

防災について総合的に学ぶ機会を提供し、防災知識の豊富な人材を育成し、地域の防災力向上及び災害に強いまちづくりを支援するため、伊勢市防災大学を開校した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場での受講とオンライン受講を併用し、実施した。

回	日時	内容	講師
第1回	7月31日(日)	・開校式 ・防災講演	三重大学 川口 淳 氏
第2回	8月28日(日)	・防災講演 「避難所のペット対応について」	竜之介動物病院(熊本市) 徳田 竜之介 院長
第3回	10月23日(日)	・防災演習 「クロスロードゲーム」	伊勢市防災コーディネーター
第4回	11月27日(日)	・防災食クッキング	だんだんキッチン 大須賀 由美子 氏
第5回	1月29日(日)	・防災講演 「避難の実態と課題」	香川大学 竹之内 健介 氏
第6回	2月26日(日)	・防災講話 「災害派遣活動の体験談」	陸上自衛隊久居駐屯地 太田 豊隆 氏
第7回	3月19日(日)	・修了式 ・学んだこと発表会	

7 備蓄物資整備事業

伊勢市備蓄計画に基づき非常用食糧等を購入・更新し、物資及び資機材の整備を行った。また、二見町光の街地内に移転した二見浦小学校・二見中学校内に完成した二見防災倉庫に物資及び資機材を整備した。

(1) 購入関係

種類	品目	R4購入	備蓄総量	備蓄目標
食糧	ビスケット	23,310食	69,650食	77,128食
	お粥	2,400食	10,400食	15,696食
	粉ミルク(13g/本)	7,200食	7,200食	2,710食
	液体ミルク(240ml)	720本	720本	-
飲料水	ペットボトル(500ml)	46,296本	207,228本	298,208本
生活必需品	アルミシート(簡易毛布)	8,400枚	69,724枚	65,833枚
	毛布	-	16,458枚	13,519枚
	紙おむつ(子ども用)	22,568枚	61,882枚	23,800枚
	紙おむつ(大人用)	9,270枚	33,304枚	7,536枚

生活必需品	生理用品	14,190枚	87,264枚	25,215枚
	使い捨て哺乳瓶	2,070本	4,910本	2,710本
	携帯トイレ	61,200回分	367,456回分	612,190回分
	トイレトペーパー	6,552巻	11,820巻	26,844巻
避難生活施設 運営資機材	投光機	19基	209基	240基
	カセットガスボンベ	288本	10,295本	9,216本

※備蓄総量は、令和5年3月末現在

※備蓄目標の数量は、伊勢市備蓄計画（令和5年3月）の避難者用と帰宅困難者用の合算

（2）二見防災倉庫（新規整備分）

品目	数量	金額
パレットラック（棚）	8式	3,289,000円
カゴ台車	100台	3,211,890円

8 災害対応デジタル推進事業

（1）伊勢市防災メール配信システム改修業務委託

防災行政無線の放送内容や防犯情報、火災情報等の緊急情報をメール、FAX等で配信する伊勢市防災メール配信システムをLINE等のSNSとの連携や新規携帯事業者への緊急速報メールに対応するため改修を実施した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市地内	伊勢市防災メール配信システム改修業務委託	システム改修一式	円 3,465,000	4. 4. 13	4. 6. 30
伊勢市地内	防災メール配信システム更新に伴う防災行政無線操作卓改修業務委託	防災行政無線操作卓改修一式	1,265,000	4. 5. 31	4. 6. 30

（2）避難所Wi-Fi整備事業

大規模災害発生時の避難所（避難生活施設）での避難生活において、避難者がスマートフォンなどの情報端末で情報が入手できるよう小中学校の屋内運動場にネットワーク機器の設置などWi-Fi環境の整備を実施した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市地内	伊勢市立小中学校及び教育支援センター等ネットワーク改修業務委託	小中学校屋内運動場 11か所	円 8,250,000	5. 1. 5	5. 3. 24

（注）教育委員会教育研究所施行（金額は危機管理課分）

イ 購入関係

小中学校屋内運動場（避難所）用ネットワーク機器購入経費 5,826,700円

9 災害協定の締結

民間事業所等と災害時の応援協定を次のとおり締結した。

締結先	締結年月日	協定の名称
社会福祉法人 恒心福社会	4. 4. 1	災害時等に福祉避難所として施設等を使用することに関する協定書
伊勢志摩総合地方卸売市場株式会社 伊勢山田青果株式会社 株式会社伊勢魚類市場 伊勢食彩株式会社	4. 5. 9	災害時等に卸売市場にある施設の一部を市の物資拠点として一時使用することに関する協定書
社会福祉法人 ベテスタ	4. 5. 16	伊勢市内に地震、風水害等に大規模災害が発生した場合、災害備蓄用パンの供給に関する協定書
NPO法人チーム・さくら	4. 6. 15	災害時における無人航空機による情報収集に関する協定書
株式会社クボタ 中部支社 クボタ環境エンジニアリング株式会社	4. 6. 17	災害発生時における緊急応急対策業務の実施に関する協定書
村田機械株式会社	4. 7. 21	津波発生時における津波緊急避難所としての使用に関する協定書
佐川急便株式会社 中京支店	4. 10. 17	災害時における備蓄物資及び支援物資の受け入れ及び輸送、輸送拠点等の運営等の協力に関する協定書
ベストパートナー株式会社	4. 11. 1	災害時における石油燃料及び生活用水等の供給に関する協定書
三重三菱自動車販売株式会社 三菱自動車工業株式会社	4. 12. 1	災害時における電動車両等の支援に関する協定書
株式会社 ダイワテック	5. 2. 21	災害時における資機材のレンタルに関する協定書

(注) 令和4年度末 協定締結数 145件

10 災害用民間井戸登録の普及

災害時における生活用水の確保と市民の防災意識の向上を図るため、災害用井戸を募集し、水質検査完了後に登録を実施した。登録後の災害用井戸は、ホームページに公表するとともに自治会役員等に周知した。

(1) 登録件数 (令和4年度末) 272件 (前年度比 19件増)

(2) 募集期間 令和4年5月2日(月)～令和4年11月30日(水)

○ 危機管理関係

1 新型コロナウイルス感染症対策本部会議

国内外で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症に対し、「伊勢市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、感染防止対策や市民に対する支援や補助など市の方針決定などを実施した。

ア 実施回数

令和元年度 15回（令和2年1月～3月）

令和2年度 17回（令和2年4月～令和3年3月）

令和3年度 11回（令和3年4月～令和4年3月）

令和4年度 1回（令和4年4月～令和5年3月）

イ 内容

感染防止対策の徹底、市主催イベント基準の作成、公共施設の貸館等の取扱い、市民・事業者への各種支援、職員の勤務体制などの方針等の決定や情報共有など

○ 防犯関係

1 伊勢市防犯推進協議会

「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するために、事業計画を策定し、市民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、より安全で安心できる市民生活の確保に努めた。

（1）地域安全講習会

年々増加する特殊詐欺事案や不審者からの声かけ事案を未然に防止するため、自治会、老人会、幼稚園、保育園等へ出向し講習会を開催した。

開催回数：35回 受講者数：1,130人（内訳：大人401人、幼児729人（保護者含む。））

内 容 ・防犯DVDや特殊詐欺事案の寸劇による啓発を行った。
・伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員による管内の犯罪等の発生状況、事例に沿った犯罪の手口とその対策方法について講話を行った。
・防犯アドバイザーによる地域の防犯対策について講話を行った。
・子供連れ去り事案防止教育の「いかのおすし」を題材とした紙芝居ビデオ及び「五つの約束」について園児に対し分かりやすい講話を行った。

（2）防犯パトロール

児童・生徒の下校中に発生している不審者の声かけ事案等について、被害防止を図るため、社会教育課と連携し、青色回転装備車で防犯パトロールを実施した。

実施回数：159回（危機管理課：95回、社会教育課：64回）

（3）防犯情報による啓発

伊勢警察署や市内の学校から寄せられた不審者情報や特殊詐欺情報、犯罪発生情報の「防犯情報」を、防犯メール登録者に配信し、注意喚起と啓発を実施した。

配信回数：25回

（4）防犯情報の提供及び対応

警察等からの不審者情報や特殊詐欺情報を自主防犯団体や関係機関へ情報提供し、パトロール活動や注意喚起を要請した。

(5) 防犯推進地区

地域住民が防犯に対する理解と認識を深め、連帯意識を高めて、自主的な地域安全活動を推進できるよう地区を指定し、自主的な防犯活動の支援を行った。

指定期間：令和3年度～令和4年度 指定地区：馬瀬町内会、中須町坂東自治会

2 伊勢市自主防犯団体連絡会

自主防犯団体相互の連携と資質の向上に積極的に取り組み、伊勢市内の防犯パトロール活動の活性化と市民の防犯意識の高揚を図った。

(1) 街頭啓発活動

毎月2回程度、伊勢警察署、伊勢度会地区生活安全協会、伊勢市自主防犯団体連絡会と合同で、大型店舗前で街頭犯罪や振り込め詐欺等の特殊詐欺被害防止のため、街頭啓発を実施した。(令和4年4月～9月は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

実施回数：10回

実施場所：市内ショッピングセンター

(2) 全国地域安全運動

全国地域安全運動の期間中(令和4年10月11日～令和4年10月20日)に伊勢警察署及び伊勢度会地区生活安全協会、伊勢市自主防犯団体連絡会と合同で、伊勢市駅、宇治山田駅前周辺での自転車ツーロック啓発活動を実施した。

開催日：令和4年10月19日(水)

3 防犯灯補助金

夜間に路上で発生する犯罪等(チカン・ひったくり等)を防止するため、自治会が所有する防犯灯の整備等に対し補助金及び助成金を交付することにより、防犯灯設置及び適切な維持管理の推進を図り、地域の防犯環境の整備を支援した。

(1) 防犯灯に係る補助金及び助成金交付

・防犯灯新設 66灯

・防犯灯修繕 189件

・防犯灯電気代 13,674灯

4 防犯カメラ設置推進事業

安全で安心なまちづくりを推進するため、防犯対策の一環として、防犯カメラを設置する自治会に補助金を交付し、地域の防犯環境の整備を支援した。

(1) 防犯カメラに係る補助金交付

・防犯カメラ新設 22台

(注) 防犯カメラ設置台数は、令和2年度の72台と令和3年度の53台を合計し147台となった。

(令和5年3月31日現在)

5 犯罪被害者等支援事業

犯罪行為に遭った被害者等の精神的負担の軽減を行うために、総合窓口として相談に応じ、各関係

機関等の適切なサービスを提供した。また、給付条件に該当する場合は、犯罪被害者等の経済的負担の軽減等を目的として、支援金の支給と日常生活の支援を行う。

(1) 実績

ア 対応実績

- ・相談件数：1件

イ 給付実績

- ・支援金：0円
- ・助成金：0円

(2) 支援金制度

犯罪被害者及びその家族(遺族)が事件直後に必要となる経済的負担の軽減を図るため、支援金を給付する。

- ・遺族支援金 犯罪被害者の第一順位の遺族 300,000円
- ・重傷病支援金 犯罪被害者本人 100,000円
- ・精神療養支援金 犯罪被害者本人 25,000円

(3) 助成金制度

犯罪被害により、日常生活及び住居安定に支障がある犯罪被害者及びその遺族に対して、助成金を給付する。

- ・家事援助助成金 上限額：3,000円/時間×30時間
- ・一時保育助成金 上限額：3,000円/日×5日
- ・転居助成金 上限額：200,000円×1回
- ・家賃助成金 家賃月額×1/2×上限額：30,000円/月×6カ月

防 災 施 設 整 備 課

○ 避難所等整備事業

1 避難生活施設等の環境整備

災害時に避難者が利用する避難生活施設等の環境整備を実施した。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
旭町 地内	宮山小学校避難所 施設整備工事	マンホールトイレ等の 整備一式	円 21,485,200	4. 6. 6	4.10.18
宇治浦田 2丁目 地内	(注1) 進修小学校避難所 施設整備工事	マンホールトイレ等の 整備一式	35,803,900	4. 6.13	4.12.16
二俣 1丁目 地内	(注1)(注2) 中島小学校避難所 施設整備工事	マンホールトイレ等の 整備一式	33,104,500	4. 6.13	4.12.20
"	(注3) 中島小学校屋内 運動場トイレ改修 工事	バリアフリー改修一式	2,820,400	4. 7. 8	4.10. 5
"	(注4) 中島小学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	869,000	4. 7.13	4. 9. 9
宇治浦田 2丁目 地内	進修小学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	924,000	4. 7.13	4. 9. 9
旭町 地内	宮山小学校災害用 マンホールトイレ 保管庫設置工事	災害用マンホールトイレ 保管庫 1棟	770,000	4. 7.15	4. 9.12
二見町 光の街 地内	二見浦小学校・二見 中学校避難所看板 設置工事	避難所看板一式	572,000	4.11. 7	4.12.16
計	8件	—	96,349,000	—	—

(注1) 下水道建設課施行

(注2) 令和3年度から一部繰越

(注3) 営繕課施行

(注4) 令和3年度から繰越

(2) 備品関係

災害用マンホールトイレ備品の購入箇所	金額
宮山小学校、進修小学校、二見浦小学校・二見中学校 (注) 中島小学校 (計4施設)	円 7,976,100

(注) 令和3年度から繰越

○ 防災対策一般経費

- 1 津波避難施設の維持管理等を実施した。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東大淀町 地内	(注) 旧北浜中学校避難 階段塗装工事	塗装改修一式	円 3,313,200	4. 6. 6	4. 7. 21
村松町 地内	(注) 北浜小学校避難階 段塗装工事	塗装改修一式	3,212,000	4. 7. 8	4. 9. 5
村松町 地内ほか	特設公衆電話整備 に伴う配管等設置 工事	特設公衆電話用配管等一 式	1,287,000	4. 8. 3	4. 9. 26
大湊町 地内	(注) 旧大湊小学校避難 階段塗装工事	塗装改修一式	3,190,000	4. 9. 30	4. 11. 28
計	4件	—	11,002,200	—	—

(注) 営繕課施行